

歯とからだの深い関係① 本当は日本人の口の中は怎なの？

日本のこれまでの歯科医療では残念ながら多く歯を失っており、予防歯科先進国スウェーデンの歯科医療では多くの歯を健康に残していることをご存じですか？本日は、今後日本で求められる歯科医療の在り方と、いい歯医者さんの選び方をご説明します。

本日の講師 歯科医師 築山 鉄平 先生

2001年…九州大学歯学部卒業/2001年～2004年…佐賀医科大学歯科口腔外科/2006年～2009年…タフツ大学(ボストン)歯学部/歯周病インプラント科最優秀臨床賞受賞/2009年…米国歯周病学会ボード認定医/2010年…米国歯科修士号/2009年～2010年…タフツ大学歯学部審美補綴フェロー/2011年～ 医療法人社団 雄之会 つきやま歯科医院

<https://www2.axa.co.jp/digitalsalestool/access/163.html> ▶



歯医者さんへ通院するほど歯を失ってしまう

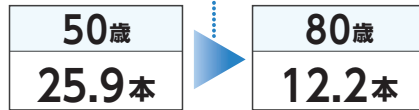
日本人の多くは削って詰める「治療」のため歯医者さんへ通います。健康な歯でも3～4回治療すると抜歯に至ります。その2大原因はむし歯と歯周病です。歯医者さんへ削って詰める治療だけで通っても2大原因を予防できず、それどころか歯医者さんへ通うほど歯を失っているのです。

日本の現状1

30年間で計28本ある歯を日本人は平均13.7本失っています。

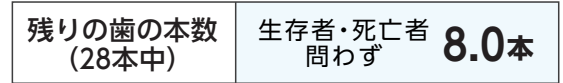
■ 年齢による歯の平均残り本数 (2011年歯科疾患実態調査から)

13.7本失われる



日本の現状2

寿命にも関わります。北九州周辺に暮らす80歳の方の歯の喪失状況。80歳ではまだまだ残っている歯の数が少ないのが現状です。



出典:Ansai et al. 2010.

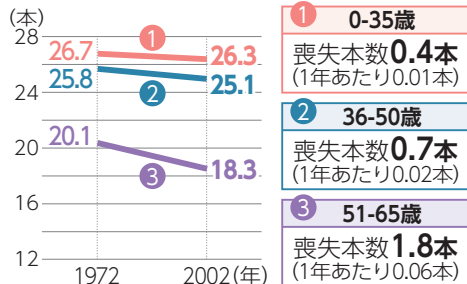
歯医者さんへ通院するほど歯を保てる予防歯科先進国スウェーデン

歯科先進国スウェーデンでは歯医者さんへ通うほど、歯をほぼ失いません。その理由は、歯医者さんに通院する目的が主に「治療」ではなく「予防」メンテナンスだからです。一般的に治療のために通院する多くの日本人に対し、歯科先進国のスウェーデンでは予防メンテナンスのために通院する方が一般的です。予防メンテナンスをしていないと20倍以上早く歯を失ってしまうのです。

スウェーデンの現状1

30年間、予防メンテナンスのために歯医者さんへ通院し続けた場合、年齢に関わらずほぼ歯を失っていません。また予防メンテナンスを開始する年齢が、若ければ若いほどより歯を失わない傾向が高いことがわかっています。

■ 1人あたりの平均残存歯数



- ① 0-35歳
喪失本数 **0.4本**
(1年あたり0.01本)
- ② 36-50歳
喪失本数 **0.7本**
(1年あたり0.02本)
- ③ 51-65歳
喪失本数 **1.8本**
(1年あたり0.06本)

スウェーデンの現状2

約90%が予防メンテナンスを目的として歯科医院へ通院しています。

■ 予防を目的とした歯科医院への定期通院率

スウェーデン	約 90%
USA	約 67%
日本	約 31%

本当に歯を守れる予防メンテナンスをするために良い歯医者さんの選び方

歯医者さんに通院していない時間を正しく過ごせるようセルフケア方法の指導を受けられることがポイントです。

<input checked="" type="checkbox"/>	チェックとクリーニングしかしてくれない	<input type="checkbox"/>	家で自立してキレイにできるように適切な指導に時間を費やしてくれる
<input checked="" type="checkbox"/>	予約時間が30分と短い	<input type="checkbox"/>	服用している薬など全身のことも定期的に確認してくれる

「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

監修:健康経営アクサ式の歯科専門家領域における社外アドバイザー つきやま歯科医院 院長 歯科医師 築山 鉄平先生



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 03-6737-7777 (代表)

www.axa.co.jp/

お問合せ先・担当者